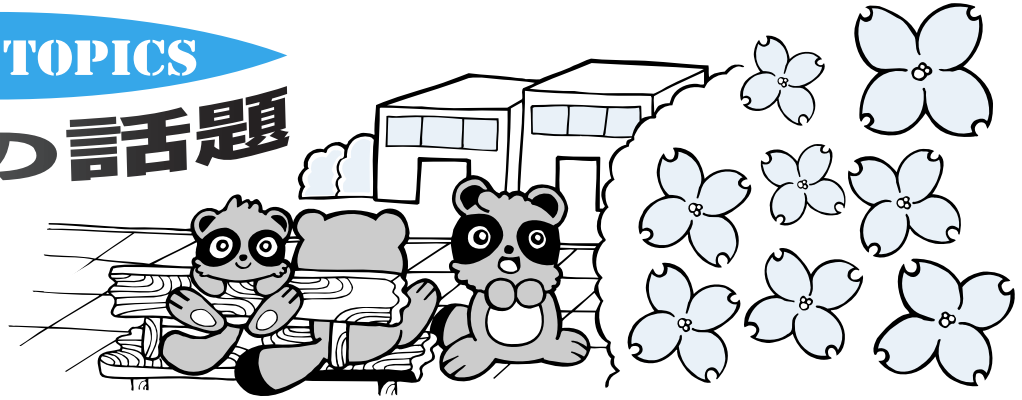


まちの話題

●身近な話題やあなたの声、元気っ子の写真待っています。
広報こまつしま
電話 32-3812



12/1

脱メタボリックをテーマに 小松島市健康づくりのつどい



メタボリックシンドローム予防策として輪になって踊る阿波踊り体操講習会

市民一人ひとりが健康で心豊やかに生活できる明るいまちづくりをめざそうと12月1日、「第28回小松島市健康づくりのつどい」（小松島市健康づくり推進協議会、小松島市主催）が市保健センター・ミリカホールで開かれました。

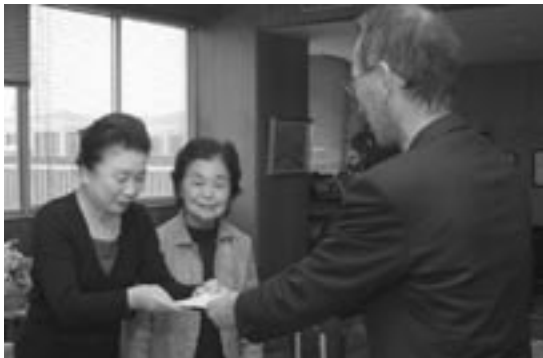
今回のテーマは「脱メタボ！ たまる脂肪にさようなら」。メタボとはメタボリックシンドロームと呼ばれ、付着した内臓脂肪がさまざまな生活習慣病を引き起こす原因に繋がるといことから、参加希望者の方の腹囲測

定や体脂肪測定を行い、徳島大学の田中俊夫助教授が考案した阿波踊り体操をその予防策として活用してもらおうと実際に輪になって踊る講習会も開かれました。

また、血管年齢を測るコーナーや健康食を試食するコーナー、親子で一緒になって楽しむリズム体操、映画上映などが開かれ、終日大勢の来場者で賑わいました。

11/28

善意の寄付



稲田市長(右)に寄付金を手渡す小松島日本舞踊の会会員

小松島日本舞踊の会の会員が11月28日、市役所を訪れ稲田市長に寄付金10万3417円を手渡されました。

この寄付金は去る11月23日、市福祉センターで開かれた同会主催の猿若志願師を偲ぶチャリティー日本舞踊で参加者の好意で寄せられたチャリティー金で、小松島日本舞踊の会の創始者で多年にわたり日舞の発展に寄与された猿若志願さん（平成18年12月ご逝去）を偲び、同会の四流派の会員が参加してひらかれたものです。

12/16

もちつきを通じて異世代交流 子どもたちがもちつき体験

子どもたちから高齢者までの異世代間交流を行い、地域の活性化を図ろうと12月16日、坂野町の大場神社境内でふれあいもちつきフェスタ（同実行委員会主催、賀野俊郎委員長）が開かれました。

このもちつき大会を企画したのは、地元ボランティアグループ。ボランティアグループが用意したもち米90キロを朝早くからセイ

ロで蒸し、昔ながらの石臼ときねを使い、もちをつきました。

昔ながらの技法でもちをつくのははじめて見る子どもたちも多く、きねを両手で持ち楽しみながらもちつきを体験しました。

参加者らが一所懸命ついたもち



きねを手に持ちもちをつく子どもたち